

第2学年英語科学習指導案

日 時 平成26年11月7日(木) 5校時

対 象 2年3組 男18名, 女17名 計35名

指導者 千葉 伴

1 単元名 PROGRAM 7 If You Wish to See a Change

2 単元の目標

(英語科の目標) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

- (1) 動名詞を用いた英文を理解し、人の行動や動作を説明する。
- (2) look や become を用いた SVC の文型を理解し、人や物の様子や状態を説明する。
- (3) give を用いた SVOO の文型を理解し、誰かに何かを与えるという文で説明する。

3 単元の評価規準

観点	B：おおむね満足できる
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	自分の気持ちを積極的に伝えようとしている。
外国語表現の能力	①動名詞を用いて、自分の気持ち等を伝えることができる。 ②look や become を用いた SVC の文型を用いて、人や物の様子や状態を説明することができる。 ③give を用いた SVOO の文型を用いて、誰かに何かを与えるという文で説明することができる。
外国語理解の能力	①話を読み取り、自分の考えをもつことができる。 ②動名詞を用いた文の内容を理解することができる。 ③look や become を用いた文の内容を理解することができる。 ④SVOO を用いた文の内容を理解することができる。
言語や文化についての知識・理解	動名詞、SVC、SVOO について用法を理解している。

4 単元について

(1) 生徒について

指示がよく通り、話し合いや活動など、交流することが比較的上手のできる学級であるが、学力や集中力に個人差が大きく見られる学級でもある。元気のよい生徒が多いので、ゲーム感覚で、暗唱したりパターンプラクティス取り組み、熟語定着等に成果の見られる生徒がいる反面、結果に表れ切れていない生徒がいるのも事実である。

定期テストや実力テストの結果をみると、長い英文を読み取る力が不足している生徒が多く、そのことが英語に対してマイナスのイメージを持つきっかけになっている。読み取りの課題を毎回提示し、少しでも苦手意識を取り除きたい。

(2) 教材について

1年生で「動詞+ing」で学習しているが、「～すること」という動名詞としての使い方では初出である。lookを使った「主語+look 形容詞」は、「主語+look like 名詞」でSVCのlookは学習済みであり、「give+人+もの」も「give+代名詞+to 人」でgiveも一通り学習済みではある。

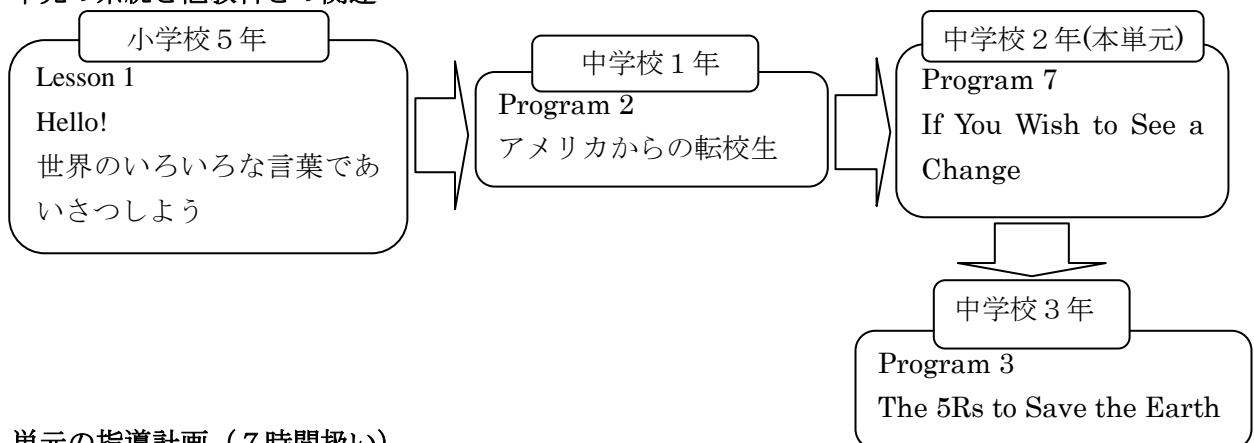
題材については、1992年、ブラジルのリオデジャネイロでの地球サミットでスピーチをした、セヴァンさんの成長を追いながら、地球環境や世界平和について考えさせる内容となっている。

(3) 指導について

それぞれ概念的には理解しづらいものなので、説明は最低限にとどめ、パターンプラクティス等を多用して、英語を口から発する回数を増やし慣れさせていきたい。動名詞については、「～すること」という名詞としての働きを理解させたい。SVCの構文指導では、表情から様子を推測する活動を通して形容詞とともに定着を図りたい。SVOOの構文指導では、ゲーム感覚で反復練習を重ねることで定着を図りたい。

読み取りについては、個人の活動「自分の考えをもつ」からグループの活動「互いの考えを交流する」へ、また大きい部分からより細かい部分へと互いの考えを交流させながらすすめていき、他と自分の考えの共通する部分や異なる部分を確認する作業を通して、「お互いの考えのよさに気づく」ことで自信を持たせていきたい。

5 単元の系統と他教科との関連



6 単元の指導計画（7時間扱い）

- (1) 動名詞を理解し、習熟する。1時間
- (2) セヴァンさんに関する話を読みとる。1時間
- (3) look (become)を用いたSVC文の構造を理解し、習熟する。1時間
- (4) セヴァンさんの語りを読みとる。1時間
- (5) giveを用いたSVOO文の構造を理解し、習熟する。1時間
- (6) セヴァンさんの語りを読みとる。1時間（本時 6 / 7時）
- (7) 本単元のまとめをする。1時間

7 本時について

(1) 目標

- ① セヴァンさんが話している内容を、本時の目標に沿って読み取る。＜理解の能力＞
- (2) 「自分の考えをもつ^自」「互いの考えを交流する^交」「お互いの考えのよさに気づく^気」場面
 - ① 本時の「自分の考えをもつ」場面は、課題提示の後の個人で読み取る場面とT or Fをし、まとめる場面である。

- ② 「互いの考えを交流する」場面は、各自読み取ったことをグループで交流する場面である。
- ③ 「お互いの考えのよさに気づく」場面は、グループで交流する場面と、グループでまとまったことを発表する場面である。

(3) 展開

段階	学習活動	場面	○指導上の留意点●評価の観点(方法)
導入 15分	1 挨拶する。 2 input 活動をする。 3 学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">リオでセヴァンが学んだことはどんなことだろう。</div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気にあいさつする。 ○ 復習や習熟を効率的にできるよう配慮する。
展開 25分	4 新出語句を学習する 5 各自学習課題解決に向け本文を黙読する。 6 個人の考えを持ち寄り、グループの考えをまとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">自</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">交</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">気</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">気</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○新出単語の発音と意味を確認させる。 ○読み取りが難しい生徒には代替えとして音読指導をおこなう。 ●本文を読みとり、自分の考えをもつことができているか記述させる。(観察・質問) ○グループ内で各自の考えを交流させ、自分の考えとの違いや同じところに気づかせたい。早く終わったグループには音読練習の指示をする。 ○グループ毎の考えを発表させる。
終末 10分	7 まとめ 8 次の学習内容を知る。 9 挨拶する。		<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題を通して、本文を読んだ感想を書かせる。 ○T or Fをおこない本時のまとめをさせる。 ・ 授業の評価をし、次時の内容を知らせる。 ・ 元気にあいさつする。

(4) 板書計画

学習課題	リオでセヴァンが学んだことはどんなことだろう。	新出語句
		Mahatma
		Gandhi
		yourself
		street
		children
		rich
		share
		greedy
見通し	1 activity 1input 2 復習 2 新出語句 3 課題解決 4 まとめ	